

学校図書館活用推進事業

豊かな心と確かな学力を育成する 学校図書館教育指導資料第1集

学校図書館を活用するスキルを身に付けさせる指導事例

平成24年3月
大分県教育委員会

はじめに

読書は、「考える力」「感じる力」「想像する力」「表す力」等を育てるとともに、豊かな心をはぐくみ、すべての活動の基盤となる「教養・価値観・感性等」を生涯を通じて身に付けていくうえで、極めて重要なものです。特に変化の激しい現代社会を主体的に生きていくためには、必要な情報を収集し、取捨選択する能力が不可欠です。本に親しむ態度や本を通じて物事を調べる習慣を子どもの時代から確立していくことが求められています。

新学習指導要領においても、思考力・判断力・表現力等をはぐくむために、各教科において、記録、要約、説明、論述等の言語活動を充実することが重要視されており、学校図書館を授業に活用することがますます求められています。

そこで、県教育委員会では、児童生徒の本に親しむ態度と情報を活用する能力の育成を目指して、平成22年度から学校図書館活用推進事業を展開しています。

この「豊かな心と確かな学力を育成する学校図書館教育指導資料第1集—学校図書館を活用するスキルを身に付けさせる指導事例—」は、図書館を活用した調べ学習を進めるうえで必要な知識や技能を、短時間で身に付けさせることをねらった指導事例集です。

これまでも調べ学習や探究的な学習は多くの学校で実践されてきました。しかし、本をどのように選ぶのか、どのようにテーマを設定するのか、必要な情報をどのように記録するのか等の基本的なスキルの指導が十分でない実践も少なくありませんでした。そのため、スキルの積み上げが難しく、調べ学習をすると時間がかかり過ぎるという声や、資料を丸写しするだけの報告書になってしまう等の声が聞かれ、必ずしも成果が上がったわけではありませんでした。本指導資料は、そのような問題の解決の一助となることを目指して作成したものです。

本指導資料を活用することで、学校図書館を活用した調べ学習に必要な知識や技能を指導者自身が意識して系統的・段階的に指導していくこと、そして、将来、問題に直面したときに、児童生徒が拠り所となる書籍の情報を基に自分なりに考え、解決していくことができる力を身に付けていくことを願っています。

平成24年3月

大分県教育庁義務教育課長

小池 一彦

本指導資料の使い方

調べ学習の過程の例を下に示します。

それぞれの段階には、学習を進めるために必要な知識や技能があります。それらを習得させるためのミニ単元を設定し、あらかじめ身に付けさせておくことで調べ学習が無理なく進められる場合もあります。また、単元の途中で取り立てて指導することが有効な場合もあります。

本指導資料に取り上げた指導事例は、学校図書館を活用した調べ学習を支える知識や技能を短時間で身に付けさせることを目的として、学校図書館活用推進事業のモデル校が実践し、さらに修正を加えたものです。調べ学習の単元に入る前、あるいは単元の途中の指導の参考になると考えています。

児童生徒の学習状況や自校の学校図書館の環境等に応じ、本書で紹介した指導事例に工夫を加え、ご活用ください。

調べ学習の過程（例）

学 習 過 程	必要な知識・技能等
1 テーマを設定する 身の周りの事柄や社会の出来事などから疑問に思うこと、問題を感じるなどから課題を設定する。	テーマの決め方
2 調べる (1) 学習計画を立てる ① 課題に応じた方法で調べる計画を立てる *グループで調べる場合は、調べる事柄を具体的に決めて分担する。 *人に聞く・・・アンケートやインタビューを行う場合は、アンケート内容の決定や依頼文の作成等の分担も行う。 *資料で調べる・・・資料の特質に応じて活用する。 ② 発信の方法を決める	調査研究の発表方法 情報源の特徴
(2) 本などの資料を使って情報を収集する	本の探し方 目次・索引の使い方 百科事典の使い方 年鑑の使い方 インターネット検索
(3) 情報を記録し、整理・分析する	情報カードの作成 要約の方法 引用の方法 情報の関連づけ グラフや表による表示
3 発信のためにまとめる 伝える方法を工夫して、発表の準備や練習をする。	新聞の作り方 報告書の書き方
4 伝え合う	プレゼンテーションの仕方
5 学習を振り返る	

も く じ

はじめに

本指導資料の使い方

学校図書館を活用した調べ学習を支える知識・技能の指導一覧表

事例

- ①「本をさがそう」(本の探し方・分類の意味・日本十進分類法) 1
- ②「本のおきかたのひみつ」(本の探し方・分類の意味・日本十進分類法) 3
- ③「図鑑で調べよう」(目次・索引の使い方) 5
- ④「テーマを決めよう」(研究テーマの決め方) 8
- ⑤「百科事典を使って調べよう」(百科事典の使い方) 10
- ⑥「情報カードを作ろう」(情報カード・出典・奥付) 12
- ⑦「新聞の作り方を知ろう」(新聞作成の手順・割付け) 15
- ⑧「いろいろな情報源のよさを知ろう」(情報源の特徴) 17
- ⑨「インターネットで調べよう」(検索の仕方・著作権) 19
- ⑩「年鑑を使って調べよう」(年鑑の使い方) 21
- ⑪「百科事典で調べて、必要な情報をまとめよう」(要約) 23
 - ◇要約の指導例①② 27
- ⑫「物語の重要人物についての報告書を書こう」(報告書の書き方) 29
 - ◇報告書の構成例 34
- ⑬「リーフレットで発表しよう」(調査研究の発表方法) 35
- ⑭「絶滅危惧種についてたくさんの情報を集めよう」(情報検索・情報の関連付け) 40
- ⑮「新聞のしくみを知ろう」(新聞の紙面構成・読み方) 42
 - ◇新聞の読み方の指導例①② 45
- ⑯「エコについて調べよう」(情報の関連づけ) 47
- ⑰「引用を使って根拠を明らかにしよう」(引用の仕方) 49
 - ◇引用の働き 51
- ⑱「グラフや表で表そう！」(グラフと表による表示) 52

付録

- 学校図書館教育全体計画—豊後高田市立桂陽小学校の例 1
- 情報活用能力指導(利用指導・活用指導)の体系表—豊後高田市立桂陽小学校の例 2
- 年間指導計画の例—国東市立国東小学校の例 3
- 年間指導計画の例—玖珠町立玖珠中学校の例 6
- 図書委員会年間計画の例—臼杵市立市浜小学校の例 7
- 学校図書館を活用した授業のポイント 8
- 学校図書館を活用した国語科授業の例 10
- 学校図書館活用教育の意義 11
- 読書指導の充実をめざして 13

事例協力校

参考文献

1 単元名 本をさがそう (対象：小学校1～2学年・特別活動)

2 身に付けさせたい知識・技能

- (1) 分類の概念を知り、図書館のだいたいの分類がわかる。
- (2) 日本十進分類表などを見ながら、探したい本をだいたい見付けることができる。
- (3) 図書館の配架についてだいたい分かる。

3 使用する図書 (子どもから出た「すきなもの」により予定使用図書が決まる)

4 単元の展開 (2時間)

時	学 習 活 動	指導上の留意点	評 価
1	<ul style="list-style-type: none"> ① 本時のめあてを確認する。 ② 分類の概念を知る。 ③ 図書館に行き、本校の分類表を確認する。 ④ 分類表を自分たち用に作成する。(詳しい分類表を完成) 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">どの棚にどんな本があるか調べよう</div> <ul style="list-style-type: none"> ○「しらべる力をそだてる授業！」を用いて(参考文献)分類の概念の話をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・「日本十進分類法」を紹介し、どんなものでもどこかの分類に入ることを実感させる。(分類クイズ) ○図書館に行き、本校の図書館の分類表(列車)を確認させる。【資料①】 ○それぞれの分類の棚に行き、どんな本があるか調べさせる。書名を分類列車(表)の中に書き込ませ、自作分類列車を完成させる。【資料②】 <ul style="list-style-type: none"> ・配架についても気付かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・だいたいの分類を理解している。
2	<ul style="list-style-type: none"> ① 本時のめあてを確認する。 ② 友だちの「すきなもの」の分類を調べる。 ③ 「すきなもの」が載っている本を探し、ラベルと書名を書く。 ④ 探した本をペアで紹介し、プレゼントし合う。 ⑤ プレゼントされた本のラベルを見ながら返却する。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">友だちの「すきなもの」が載っている本を探し、プレゼントしよう</div> <p>(本時まで「じぶんのすきなものリスト」を書いておく。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ペアを作り、好きなものリストを交換させ、その分類番号をプリントに記入させる。前時作成した分類列車を参考にさせる。【資料③】 ○分類の棚へ行き、プレゼントしたい本を選び、ラベルと書名をプリントに書き写させる。本が見付からないときは、担任や司書に相談することを知らせる。 ○探してきた本の分類と書名を紹介し、プレゼントを交換させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・本をざっと読む時間を確保する。 ○ラベルを見ると棚が分かることを確認する。分からないときは、ペアに聞くことも知らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分類表を見ながら、「すきなもの」を分類し本を見付けている。 ・ラベルを見ながら返却している。

5 アドバイス

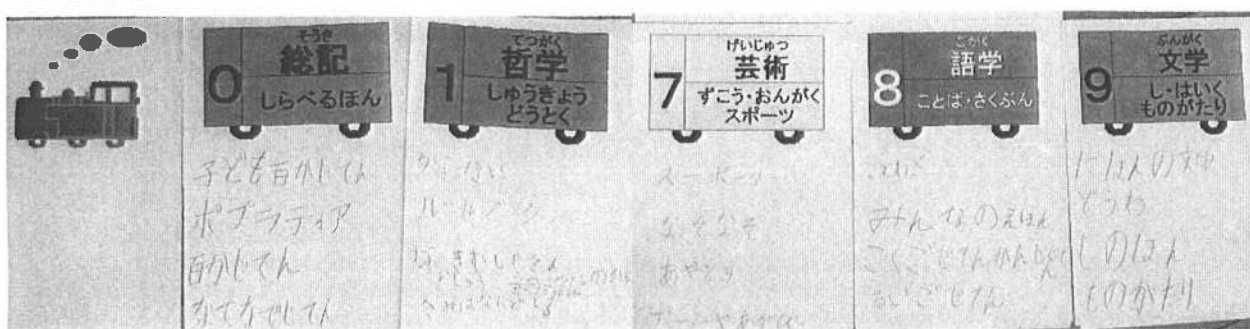
- 日本十進分類表は、図書館・教室など、身近なところに掲示しておくことで定着しやすい。
また、子どもたちの親しみやすい列車などに見立てて「分類列車」を子どもたちに配布するなど工夫したい。
- 「好きなものリスト」は、とっておきの紙に書かせるなど工夫することで、子どもの気持ちを高めることができる。

6 資料

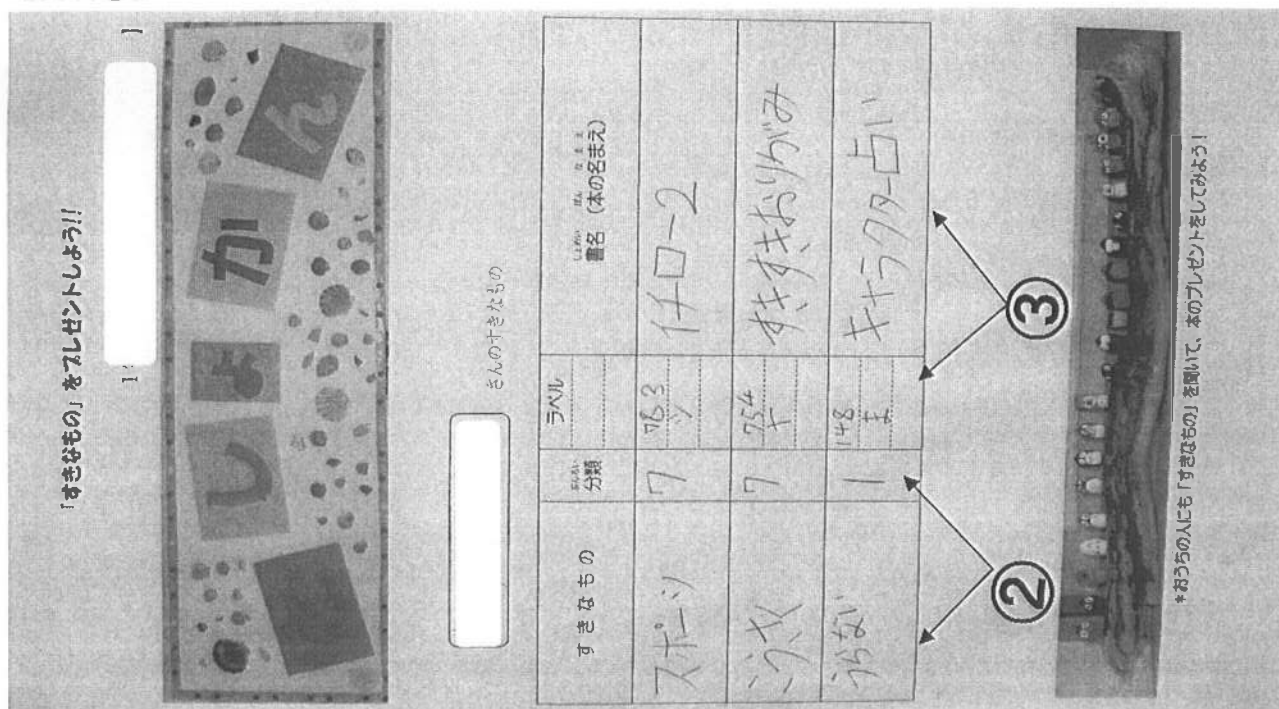
【資料①】



【資料②】



【資料③】



(参考文献)

赤木かん子『しらべる力をそだてる授業!』 ㈱ポプラ社 2010年 (P72~79)

1 単元名 本のおきかたのひみつ～本の場所あて・場所さがしクイズ～ (対象：小学校1～2学年・特別活動)

2 身に付けさせたい知識・技能

- (1) 本の分類番号をもとに、本を探することができる。
- (2) 分類番号の意味がだいたい分かる。

3 使用する図書

- 「むしたちのうんどうかい」(2001・童心社)
- 「総合百科事典ポプラディア」(2011・ポプラ社)
- 「ルドルフとイッパイアッテナ」(1987・講談社)
- 「空海」(1989・集英社)
- 「日本人の20世紀・くらしのうつりかわり〈6〉小学校」(2000・小峰書店)
- 「おおきなかぶ」(1966・福音館書店)
- 「みんなうんち」(1981・福音館書店)
- 「恐竜たんけん図鑑」(1986・岩崎書店)
- 「車の色は空の色」(1977・ポプラ社)

4 展開(1時間)

学 習 活 動	指導上の留意点	評 価
<p>①本時のめあてを確認する。 (5分)</p> <p>②本の場所当てクイズをし、本の配架と分類について考える。 (10分)</p> <p>③本の分類番号と配架について知る。 (10分)</p>	<p>○置き場が分からなくなった本数冊を見せて、本をどこにどのように置けばよいのか、考えていくことを伝える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>本のおきかたのひみつをみつけよう</p> </div> <p>○ジャンルの違う本を取り上げて、1冊ずつ書架のどこに戻せばよいか考えさせる場所当てクイズをする。 (問題例) 「むしたちのうんどうかい」(日本の絵本) 「おおきなかぶ」(外国の絵本) 「ポプラディア」(百科事典) 「ルドルフとイッパイアッテナ」(物語)</p> <p>○書架にもどして気付いたことを出し合わせる。 ・絵本は日本と外国で分けて置いている。 ・それぞれ別々の場所に置いている。 ・あいうえお順に並んでいる。 ・本棚にラベルを貼っている。</p> <p>○「みんなうんち」の読み聞かせをしてから、置き場所を予想させる。「いきもの」棚であることを明かし、絵本なのに絵本の棚でないことを押さえる。</p> <p>○「みんなうんち」と他の絵本の本紹介フリップ(表紙と背表紙の拡大写真)^{*1}を提示して、分類番号の違い(7類と4類)に気付かせる。 【資料①】</p> <p>○他の2冊(0類・9類)のフリップについても掲示し、図書館にある分類番号表^{*2}と書架にある表示に注目させながら、分類番号について大まかに説明する。【資料②】 ・一番前の番号で0～9類の10に分けられてい</p>	<p>・場所当てクイズに意欲的に参加している。</p>

1 単元名 図鑑で調べよう (対象：小学校1～2学年・生活科)

2 身に付けさせたい知識・技能

- (1) 調べたいものの名前が分からない時は目次を、名前が分かっている時は索引を使って調べればよいことを知る。
- (2) 目次や索引を活用し、図鑑の使い方に慣れる。

3 使用する図書

「調べ学習紙芝居シリーズ6 本ってどうやって使うの？」(赤木かん子 埼玉県福祉会 2011)
 「小学館の図鑑 NEOシリーズ」(小学館 2010)

4 展開(2時間)

時	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点	評 価
1	<p>の振り返りを</p> <p>①本時のめあてを知る。</p> <p>の種類や構成 いて知る。</p> <p>③例題を用いて見付け方を知り、図鑑で調べる練習をする。</p> <p>④図鑑で調べることについて、今日知ったことを確認する。</p>	<p>○紙芝居「本ってどうやってできたの？」を使って、本が作られた歴史から表紙、ページの役割などを確認する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">図鑑ってどうやってつかうのかな。</p> <p>○種類・・・「調べたいもののなかま」ごとに分けられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分類番号と本の題名 <p>○構成・・・目次と索引のページがある。</p> <p>○分類番号と題名を見て、調べる図鑑を選ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例題は児童の興味・関心に応じて設定する。 <p>例題1：〈名前が分からない時〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実物や写真を提示する。 <p>「このとんぼの名前は何か?」「この花は?」</p> <p>→目次を見てみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目次の項目から、載っているページを探させる。 <p>例題2：〈名前が分かっている時〉</p> <p>「くつわむしって、どんな虫かな?」</p> <p>→索引で調べてみよう。</p> <p>○目次と索引の活用場の違いを押さえる。</p>	<p>・目次と索引の活用の仕方を理解している。</p>

2	<p>①本時のめあてを知る。</p> <p>②見付け方を復習し、提示された課題について図鑑で調べる。</p> <p>③分かったことをワークシートに記録する。</p> <p>④調べて分かったことを友だちに知らせる。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 図鑑で調べて、みんなに知らせよう。 </div> <p>○図鑑の題名から1冊ずつ選ぶ。(一人一冊)</p> <p>○調べ方の確認をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目次、索引を順に探し、見付けたらそれぞれに付箋を貼ること。 ・ワークシート記入の仕方について 【資料】 <p>○図鑑ごとに興味を持って調べられそうなものの名前を、カードに書いて児童に渡す。</p> <p>①目次を見て調べさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目次のページで見付けられたら付箋を貼らせる。説明されているページにも付箋を貼らせる。 → 見付からなかったら、索引調べへ ・目次で本の内容(項目)を確認させる。 <p>②索引を使って調べさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・索引のページで見付けられたら付箋を貼らせる。説明されているページにも付箋を貼らせる。 <p>○調べて分かったことをワークシートに記録させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・項目を書くこと、絵はよく見て細かく描くこと、特徴などを表す言葉を書き込むとよいことを伝える。 <p>○掲示して、分かったことを友だちに伝え合ったり、記録の仕方の良さを評価し合ったりさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・目次や索引を使って調べている。
---	--	--	--

5 アドバイス

- いろいろな学習活動において、目次と索引の使い方を繰り返し練習していくようにしたい。慣れるための学習活動として、クイズやゲーム活動を取り入れたり、記録カード(ワークシート)を見せ合ったりするなど、図鑑を使う楽しさを味わえるよう工夫したい。
- 調べる過程を大切にするために、付箋を貼って活動の跡を残していくのは、有効な手立てである。目次、索引、載っているページの3種類で付箋の色を変えてもよい。

【資料】

しらべたこと

ようす ^え絵でかいてみよう

しらべたずかん

ぶんるいばんごう

ずかんのなまえ

ページ

ひにち

月 日

なまえ